

## 第3号被保険者の不整合記録の状況について（粗い推計）

### 1 不整合記録を有する対象者数等について

- 第3号被保険者から第1号被保険者に種別変更した者の昭和61年度からの累計

1,913万人

(注) 昭和61年度から平成21年度までの第3号被保険者数の累計に、直近5ヶ年の平均種別変更割合(約7%)を乗じて算出。

- 現在、不整合記録を有する対象者数

不整合記録を有し、年金額に影響があると考えられる者 (右の内数)	(	不整合記録を有する者	)
-------------------------------------	---	------------	---

全体	47.5万人	97.4万人
受給者	5.3万人	14.3万人
被保険者等	42.2万人	83.1万人

(注1) 日本年金機構の社会保険オンラインシステムの中から抽出した不整合記録を有する者のデータ等を用いて取り急ぎ粗い推計を行ったもの。

(注2) 不整合月数が1ヶ月以上のものは年金額に影響があると考えられる。なお、不整合月数とは、本来ならば第1号被保険者として記録すべきところ、第3号被保険者として記録されている月数のことをいう。ただし、直近2年の間にある当該月数を除く。

- 過去に2年以上遡って不整合記録を訂正し、年金額に影響があると考えられる者の昭和61年度からの総数

全体	117.6万人
受給者	50.3万人
被保険者等	67.3万人

(注) 日本年金機構の社会保険オンラインシステムの中から抽出した過去2年以上遡って記録を第3号被保険者から第1号被保険者に種別変更した者の数である。

### 2 不整合記録を有し、年金額に影響があると考えられる者の不整合月数について

受給者	一人あたりの不整合月数	約6.8月
	不整合月数が最も長い者の不整合月数	128月
被保険者等	一人あたりの不整合月数	約23.5月
	不整合月数が最も長い者の不整合月数	224月

(注1) 日本年金機構の社会保険オンラインシステムの中から抜き出した本人と配偶者の年金記録が不整合となっているケースのデータを用いて取り急ぎ粗い推計を行ったもの。

(注2) 年金額への影響の有無の考え方等については、上記の(注2)と同じ。